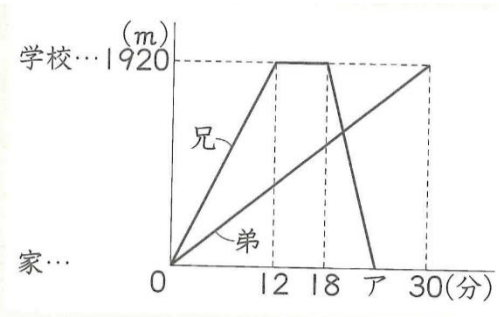
※（標準レベル）＝屋宜塾の「入塾テスト」のレベル
※（県内最難関レベル）＝屋宜塾の「授業」で取り扱うレベル

〔小6算数〕 第6回

範囲:小6内容　時間30分　1問10点×10問

1　（標準レベル）〔速さとグラフ〕

右のグラフは、兄が家と学校の間を往復し、弟が家から学校まで行ったときの様子を表しています。グラフの横軸は家を出てからの時間を表し、たて軸は家からの距離を表しています。兄の帰りの速さは行きの速さの2倍でした。



（1）兄の行きの速さは分速何mですか。

（2）グラフのアにあてはまる数を求めなさい。

（3）兄と弟が出会ったのは、2人が家を出てから何分後ですか。また、家から何mの地点ですか。

2　（標準レベル）〔比例・反比例〕

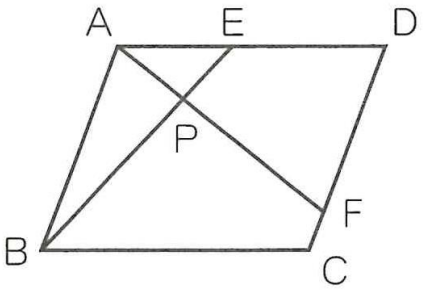
たかし君の時計は1日に12分遅れます。この時計をある日の午前9時の時報に合わせました。これについて次の問いに答えなさい。

（1）この日の午後1時の時報のとき、たかし君の時計は何分遅れていますか。

（2）この日の夜、たかし君がこの時計を見ると、6時55分でした。このとき、正しい時刻は何時何分ですか。

3　（県内最難関レベル）〔面積の比①〕

右の図の平行四辺形ABCDで、Eは辺ADを3:4に分ける点、FはBEとAFの交わる点です。



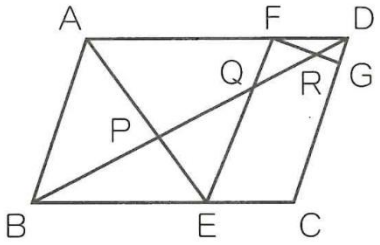
(1)AP:PFを求めなさい。

(2)三角形APEと三角形ABPの面積の比を求めなさい。

(3)平行四辺形ABCDの面積が76cm²のとき、三角形ABPの面積を求めなさい。

4　（県内最難関レベル）〔面積の比②〕

AB が2cm、BC が3cmの平行四辺形 ABCD の対角線 BD 上に P, Q, R をとり、BP:PQ:QR:RD＝4:3:2:1となるようにしました。AP の延長と BC の交わった点を E、EQ の延長と AD の交わった点を F、FR の延長と CD の交わった点を G とします。



(1)　BE, FD の長さをそれぞれ求めなさい。

(2)　CG の長さを求めなさい。

〔小6算数〕 第6回

範囲:小6内容　時間30分　1問10点×10問

解答

1 (1)分速160m　(2)24　(3)時間･･･20分後　地点･･･1280m

2 (1)2分　(2)7時0分

3 (1)6:13　(2)5:14　(3)12cm^2

4 (1)BE･･･2cm　FD･･･$\frac{6}{7}$ cm　(2)$1\frac{9}{13}$ cm